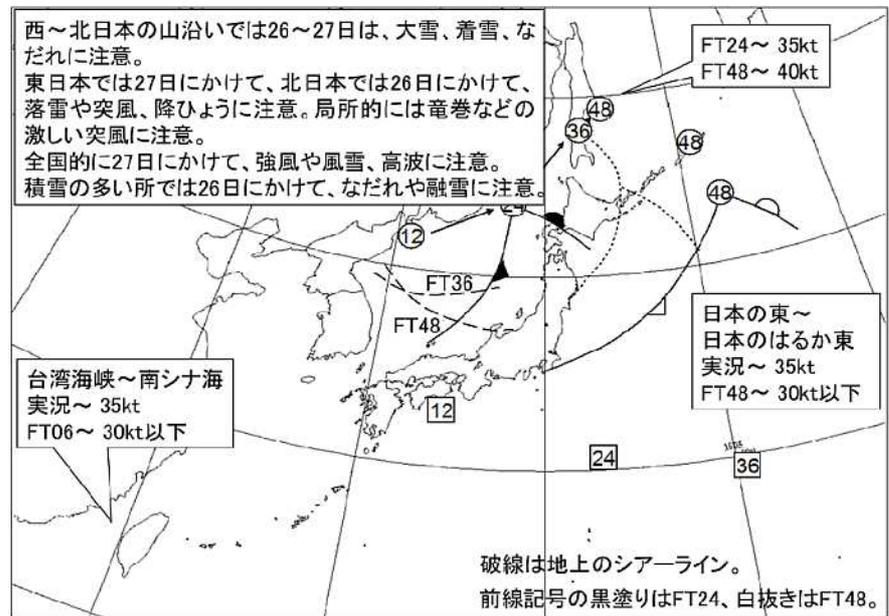


1. 実況上の着目点

- ① アリューシャンの南に発達した低気圧、黄海に高気圧があって、日本付近は西高東低の気圧配置となっている。東～北日本では山沿いを中心に3時間に5cm前後の降雪を観測。また、先島諸島周辺では1時間に10mm前後の降水を解析。
- ② 西高東低の気圧配置の影響で、気圧の傾きが大きくなっており、北日本では強い風が吹き、全国的に波が高くしけとなっている所がある。



主要じょう乱解説図

2. 主要じょう乱の予想根拠と防災事項を含む解説上の留意点

- ① 1項①の高気圧は25日は、西日本から日本の東に移動する。西～北日本はこの高気圧に覆われ、降雪は弱まる。一方、500hPa5280～5400mの-33℃以下の寒気を伴ったトラフに対応し、25日朝までに日本海で低気圧が発生し、前線を伴い発達しながら日本海を北東進、26日夜にはオホーツク海へ進む。前線や低気圧に向かって下層暖湿気が流入し、大気の状態が非常に不安定となる所がある。東～北日本では26日にかけて、落雷や突風、降ひょうに注意。局地的には竜巻などの激しい突風に注意。また、850hPaの0℃線が東北地方まで北上するため、積雪の多い所では26日にかけて、なだれや融雪に注意。
- ② 2項①の低気圧がオホーツク海に進む26～27日は、日本付近は西高東低の冬型の気圧配置が強まる。850hPaの気温で北日本には-12℃以下の、西日本には-6℃以下の寒気が流入し、大雪となる所がある。西～北日本の山沿いでは26～27日は、大雪による交通障害、着雪、なだれに注意。
- ③ 26～27日は日本海に地上のシアーラインが形成し、北陸地方を指向する。シアーライン周辺では大気の状態が不安定となる。東日本では26～27日は、落雷や突風、降ひょうに注意。また、シアーラインが指向する東日本では、山沿いを中心に降雪の強まりに留意。
- ④ 冬型の気圧配置や2項②の発達する低気圧の影響で、気圧の傾きが大きくなり、強い風や局地的には非常に強い風が吹き、波が高くなりしけとなる所がある。全国的に27日にかけて、強風や風雪、高波に注意。

3. 数値予報資料解釈上の留意点 総観場はGSMを基本、量予想や降水分布はMSMやLFMも参考。

4. 防災関連事項 [量的予報等]

- ① 雨量(06時からの24時間)：多い所(100mm以上)はない。
- ② 降雪量(06時からの24時間)：多い所(注意報級以上)はない。
- ③ 波浪(明日まで)：東北・北陸4、北海道・関東・伊豆諸島・近畿・中国・沖縄3m。

5. 全般気象情報発表の有無 発表の予定はない。